

環境改善舗装

透塊ソイル

point1

水を
かけるだけで
固まります

…土から生まれた…

雑草が生えにくい
太陽の照り返しが少ない
植樹の育成管理がしやすい
環境にやさしい
さまざまな施工が可能

point2

土壌に還元
しますので
産廃に
なりません



今や環境については、社会問題としてとりあげられている、「ヒートアイランド現象」や「地球温暖化」の緩和・軽減策として緑化によるCO²の減少や自然的回帰が注目されています。

現在まで、広く土木資材として公共事業や公共施設等環境舗装材に活用されておりました国土交通省新技術登録商品(NETIS)「透塊ソイル」の魅力は、原材料が土なので環境にもやさしく土壌への還元も可能なことです。

優れた保水性を持ち、アスファルトと違って照り返しを軽減し、ヒートアイランド現象の緩和にもつながります。

施工手順



1. 下地処理

草木の除去や障害物を取り除き施工場所の整正を行います。(雑草の根は全て取り除いてください。)



2. 整地

振動コンパクターなどを使い土面を転圧し不陸整生を行います。(広い場所では振動ローラーなどを用います。)



3. 下地散水

透塊ソイルを敷き均す前に下地にたっぷり水を含ませます。
※こうする事によって散水時間が短縮されます。



4. 敷き均し

透塊ソイルを均一に敷き、木コテなどで均します。設計厚さ確保(4~5cm)のため、複数の箇所です実際の厚さを測定してください。また、ブロックなどの接する端部は疎になりやすいので、へらなどで鋤き込んだり転圧するなどの作業を行ってください。

防草や浮き上がりの対策にも有効な方法です。表面はコテで軽く敷き均す程度の仕上げにし、多少表面に粗い粒子が残るようにして下さい。自然な感じをだすためにハケ仕上げも可能です。



5. 散水

まんべんなく十分な散水を行います。散水は規定量以上を確実に確保してください。(15~20リットル/m²) 水は噴霧器やジョウロで撒き、表面に水溜りが出来ないように注意してください。水溜りが出来ると、後日「白華」して景観を損ないます。散水には動力散水器やジョウロを用い、霧状からシャワー状に切り替えられるものをお勧めします。なお、水を直接吹き付けたり、多量に流し込むと材料が流れ出てしまいますので、ジョウロで散水する程度以上の応力を与えないでください。(バケツ散水など)



5. 養生・完成

固まるまで数日間放置します。(環境により養生が必要)
冬季の低温、夏季の乾燥には十分な養生を行ってください

■使用量の目安(1m²当り)

用途	舗装厚	使用量(袋:25kg入)
庭・植樹周り・防草	40mm	2.56
歩道・エクステリア	50mm	3.20
駐車場	60mm	3.84

※ロスは見ておりません



●主成分

真砂土、固化材、透水材 など

- 地盤の不陸整正や下地処理を十分実施してから舗装してください。
- 防草のためには、除草(根も含む)を十分実施してから整正してください。
- 散水量(平面:15リットル以上/m²、法面:30リットル以上/m²)は正しくお守りください。
- 冬季の低温、夏季の乾燥には十分養生を行ってください。

※表面温度5℃以下では施工できません

透塊ソイル01

製造・販売

日本硝子工業株式会社

本社: 〒321-0904 栃木県宇都宮市陽東3-7-4
Tel.028-660-7249 Fax.028-6607380
<http://www.n-garasu.co.jp>



注意

●施工に不備があると、損傷などの原因となることもあります。不明な点は弊社営業所にご相談ください。

販売代理店

インフラテック株式会社

本社
〒890-0062 鹿児島市与次郎2-7-25
Tel.099(252)9911 Fax.099(259)4100
<http://www.infratec.co.jp/>

問い合わせ先